

令和元年度 令和2年1月20日(月)~21日(火) 議会運営委員会行政視察報告

◇視察先

- 愛知県瀬戸市：1. 政策サイクルの体系化について
2. 予算・決算委員会について
3. 議会ICT化について
4. 委員会の映像配信について
5. 「届け!!!わたしたちの声 まちづくりの想い」プロジェクトについて
6. 議会基本条例の検証について
- 愛知県日進市：議会活性化、議会改革の取組み等について

◇視察参加者

委員長	海野 誓生
副委員長	三樹喜久代
委員	西村 豪武
委員	近藤 勝久
委員	富井 寿一
委員	森腰 英信
委員	若杉 盛二
委員	小林 隆洋



■ 愛知県

瀬戸市

日進市





愛知県瀬戸市

【 市の概要 】

人 口 1 2 7 , 6 5 9 人
[2019]
総面積 1 1 1 . 6 km²



瀬戸焼の生産地として知られる。「瀬戸物」（せともの）という名称は、この地の古くからの地名である「瀬戸」に由来する。市内に点在する鉱山では、陶磁器・ガラスの原料となる粘土・珪砂が産出される。市の主産業であった窯業は近年低迷が続き、関連工場の数は、最盛期の半分程度まで減少している。窯業関連工場跡地にはマンションが建設されている。

瀬戸市議会の構成

議員定数	総務生活	厚生文教	都市活力	予算決算	議会運営
26人	8人	9人	9人	26人	8人

1. 政策サイクルの体系化について（その1）

〔目的〕 市民の声を政策に反映していく

■意見交換会を起点とした政策のサイクル

流れ

議会報告と市民との意見交換をするため、実行委員会を組織
（年1回から2回に変更）



- * 広報公聴協議会の公聴部会を中心に企画・開催
（協議会：全議員25、広報部会12と公聴部会13）

各定例会後に「議会報告会」（3月・9月定例会）と「市民との
意見交換会」（6月・12月定例会）を交互に実施
議会報告会と市民との意見交換会を交互に年4回開催



- * 議員全員を4班に分け、意見交換会を起点とした
政策サイクルに基づく実施

議会報告会開催を改め、5月と11月に市民との意見交換会を開催

1. 政策サイクルの体系化について (その2)

(政策サイクル)

中学校区で意見交換 (市内8箇所)



市民の意見・要望等を常任委員会に割り振る



重要性・緊急性により取り組む課題設定



調査・研究・政策討論

* 意見交換会前には各種関係団体との意見交換の開催、
専門的知見の活用

- ・ファシリテーターとして意見の聴取と集約
- ・議員5～6名がそれぞれ円卓会議の座長を務める



必要に応じて市長へ政策提言



次の意見交換会で報告、HP公開

2. 予算決算委員会について

■ 予算決算委員会の手順

分割審査（採決は行っていない） → 予算決算委員会（報告・討議・採決） → 本会議（報告・討議・採決） **2度手間**

■ 分科会で修正動議が出された場合の取り扱い

修正動議が出されたことはない

提言書や申し入れを行ったことはある。

* 提言（意見）を執行部に提出したい場合

分科会で発議 → 1名以上の賛同者で予算決算委員会（報告・討議・採決） → 本会議（報告・討議・採決）



3. 議会ICT化について（その1）

■ さらにわかりやすく市民への情報を提供する手法

地域メディアであるケーブルテレビに番組制作放送を委託
(H21年度～)

内容：「こんにちは！瀬戸市議会です。」

年4回で放送枠10分、放送日数7日間。

* CATVスタッフとの打ち合わせの中で、議会用語や制度説明をわかりやすく説明する内容に変更

⇒ ・ 出演者の目線が自然になった。

・ 広報部会メンバーが自分事ととらえ、対応するようになった。

・ 7月から議員が番組を考えシナリオを作成。刷新を図る。

* 瀬戸市より配布された資料に
経費等の詳細あり



3. 議会ICT化について (その2)

■議会タブレット導入について

ICT推進PT議会 (H29. 6) [運営委員会の諮問機関] 設置

各会派から 1 名を選出



12月議会においてタブレット導入に係る予算案を可決



H30年 3 月定例会に試行導入 (ペーパーレス会議システム
と紙資料併用)



6 月定例会で本格導入 (予算書、決算書等一部紙資料配布有)



9 月定例会で完全ペーパーレス化 (予算書、決算書等を含む、
但し、個人情報等取り扱い文書は紙資料) 導入

* 執行部との協業、セキュリティ等の関係上、議会のみ導入

システム : moreNOTE グループウェア : サイボウズ

4. 委員会の映像配信について

〔目的〕 開かれた議会の実現のため委員会も映像配信を行っている

■中継しない会議

議会改革推進特別委員会、広報公聴協議会、全員協議会
各派代表者会、正副議運・常任委員会

■スマートフォン対応の録画放送（H30年度～）

〔メリット〕

- ・傍聴に来られない市民が、各家庭のPCやタブレットで会議の様子視聴が可能
- ・公式記録（録画放送）が作成されるまで、切れ目のない会議の公開が可能

* 視聴率が少ないことから、費用対効果の面から課題もあるが、継続的な展開が必要。

〔デメリット〕

- ・発言の取り消しや不穏当発言への対応。
- ・利用停止の可能性等のリスク。

〔録画配信費用〕 中継・録画配信

140万円/年（内委員会映像作成費は13万円）

5. 「届け!!私たちの声 まちづくりの想い」 プロジェクトについて ～若者の政治参加を目指して～

〔目的〕 議会側は「議会の見える化」を図り、議会の役割を若者に伝え政治への距離を縮め、若者側は「政治へ参加することや地域課題を自らの問題とする」ことを考える機会とする

■ 「大学コンソーシアムせと」について

- ・ 学生と議員の勉強会、フィールドワーク、意見交換
- ・ 学生の声を代弁しての一般質問、議会を終えての意見交換会等

6. 議会基本条例の検証について

■ 評価検証

各議員の評価検証シートを記入。



各会派で議論



議会改革推進特別委員会でとりまとめ

* 外部知見として大学教授の評価も参考としている

視察を終えた委員の所感

瀬戸市議会（その1）

- ・ 市民の声を政策に反映させる「政策サイクルの体系化」はとても参考になった。少人数での円卓会議の手法や外部知見の登用は取り入れるべきである。タブレットの導入が急がれるところであるが、予算の関係もあるので、まずはグループウェアの導入にて事務処理の簡素化から取り組むのも一考の余地がある。外部知見の登用など更なる工夫が必要である。
- ・ 分科会で質疑等のみで決算委員会で報告、採決し、再度常任委員会で採決決議とした二度手間の対応である。地域メディアケーブルテレビで議会情報番組をに委託し、CATVスタッフとの打ち合わせの中で議会用語や制度説明が分かり易い内容説明に変更され、出演者の目線が自然になった点や、部会メンバーが自分事として責任感を持った対応になったとのことは見習うべきである。スマートフォン対応の録画放送が開始されている。本市での現配信の取組みの方がベターと思う。
- ・ 「意見交換会を起点とした政策サイクル」に基づき、市民との意見交換会（5月、11月）を実施。市民の声を政策へ反映しており、報告会の在り方も、議員1人に市民5、6人がテーブルを囲み幅広いテーマを議題に意見交換を行っている。本市も今後の運営について考えていく時期に来ていることを考えると、ヒントになると感じている。また、議会の動きを周知する意味で、10分番組やFacebook、議会だよりによりラジオとさまざまな媒体を駆使しているのも印象に残った。
- ・ 政策サイクル体系化については、本市でもまだわずかではあるが政策サイクルが出来つつあるなか、すでに同じ方向性で先を行く瀬戸市を視察したことで今後の方向性の確認ができた。数々の改革の取り組みを丁寧な資料で頂いたので、今後大変役に立つと思う。

視察を終えた委員の所感

瀬戸市議会（その2）

- ・ 2元代表制における開れた議会のあり方などを議会として模索していることが、ひしひしと伝わってきた。分割付託の問題については、再考する必要はないかの検討は必要かも知れないと感じた。「届け!! わたしたちの声 まちづくりの想い」では、市内の高校生との意見交換会等を是非とも取り組みたいと痛感した。
- ・ 意見交換会では、5～6名程のグループワーク方式で、地域住民が出された意見に優先順位をつけ3つくらいに絞り議論を深めているとのこと。議員は、ファシリテーターをすることで、住民の意見を出しやすくしている。タブレット導入については、議会主導で執行部側との同じような歩調で取り組んでいる時期に来ている。
- ・ 名古屋大学の学生と一緒にいったフィールドの中から若い意見を取り上げることができている。議会ICT化により情報の共有化とスピーディな伝達、経費の削減へと繋がっている。議会基本条例の見直しを議会において行うのみならず、龍谷大学の教授に評価をしてもらっている。
- ・ 分割付託は「議案不可分の原則」に反する。委員会としての審査は一委員会行うべきものではないかと考える。また、「特別委員会」で審査するのではなく「予算（決算）常任委員会」で審査すべき。全員で構成するのではなく例えば10人で構成する常任委員会を設置する手法も考えられる。



愛知県日進市

【市の概要】

人口 91,795人
[2019]
総面積 34.90 km²

多くの大学や高校が存在する田園学園都市で、西は名古屋市、東は豊田市に隣接している。名古屋市営地下鉄鶴舞線（1978年）、名鉄豊田線（1979年）の開通、土地区画整理事業や民間デベロッパーによる宅地開発等により急速に都市化が進み、国勢調査による人口増加率は全国の市の中で2位（12.0%、2000年→2005年、なお1995年→2000年は16.4%で1位）となった。



愛知牧場

日進市議会の構成

議員定数	総務文教	福祉厚生	市民建設	予算決算	議会運営	議会広報
20人	7人	7人	6人	20人	9人	7人

*定数20人中、女性議員が7人（35%）。全国の中でも女性議員の多い市。

■ 議会活性化・議会改革の取組状況について

1 学生との意見交換について

私立大学でカリキュラム(コマ)2年間。

3年前、議員と学生との対話会を教授が進言。

教授が転勤され、以降行っていない。

- ・ 特に行行政職に就きたい学生を対象。
- ・ 議会運営委員会委員が対応。

2 議決事項の拡大について

総合計画や同基本構想、姉妹都市に関する事案、都市宣言に関するなど、今後拡大化を図るべく権を行っている。

3 委員会傍聴者への資料の貸し出し

閲覧資料として傍聴席の後方に置いて、資料のファイルを貸し出し委員会終了後に返却している。

4 議会基本条例見直し検討会議

具体的にどのようなことがそぐわなくなってきたか検討・改訂。

条例見直しはH23.4~H29に5人構成の議員より見直し。

(反問権の導入・倫理条例の制定等)

■ 議会活性化・議会改革の取組状況について（その2）

5 議会ICT化の取り組み

- ①個人所有のPCの委員会への持ち込み可（H30年度～）。
- ②グループウェア（サイボウズ）を事務局が開示中。
使用料 5,000円/月

6 議会だよりの目の不自由な方の対応

音訳ボランティア（有償）にCD作成を安価で委託契約。
DAISYデージー版〔デジタルオーディオインフォメーションシステム〕
実績：令和1年度に8人と希望者に郵送。

7 政務活動費の領収証のHP公開

政務活動費は個人で報告し、領収書をHPでの公開。
・スキャナーで領収発行者や担当者名等の個人情報には黒塗り。
・全ての領収証の報告書添付。

8 予算決算委員会の動議の取り扱いについて

修正動議等の実績はない。
予算決算の質問事項が事前に詳細提示されていない。

視察を終えた委員の所感

日進市議会

- ・ 有償ボランティア委託で、議会だよりのデジ版CD作成、HPへの公開もしている。本市での検討はできないか。
- ・ 利用しているサイボウズによるスケジュール管理は、進めていく必要がある。
- ・ 高校生との意見交換会は実施していないが、来年度は検討をしたいと考えている。目の不自由に市民の方へ議会だよりをCDに音訳ボランティアグループより収録してもらい令和元年は8人の方に事務局から郵送をしている。
- ・ 議会基本条例の見直しは約一年かけておこなった、時代に合った見直しで条文、倫理条例、反問権等を改正していた。
- ・ 愛知学院大学教授の進言で3年前に行政職に就きたい学生を相手に、議会運営員会正副委員長が出向き2年間対応した。本市でも高校生との意見交換会の開催等は実施すべき課題である。条例見直しはH23.4～H29に5人構成の議員より見直され、現在は見直ししていない。ICT化は、グループウェアに事務局が開示中、サイボウズを活用しているとのこと、当局と協業の取組みでは同一のソフト等の導入活用が望まれる。
- ・ 本市の取組が一步進んでいると感じたのが正直なところであり、ある意味方向性が間違っていないことを確認できた。個人的には、視察の冒頭挨拶にあった、子育て支援が充実していることや住みよさランキングが高いこと、また毎年千人程度、若い方が流入していることの原因が気になったため、機会があればそのテーマでまた視察に伺いたい。